

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤真弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆
小林国二・高橋 潔・高橋利春
屋代 健・飯泉隆史・山内芳次
近藤龍弘・近藤マリ子・近藤久美子
印刷・株式会社印刷

『ありのままの真理をみつめて』

泰忍 弘

前号の季刊蔵王山安善寺の
発刊が三月十日でありました。
原稿を書いていた二月中旬に
コロナウイルスの問題がここ
まで大きくなるとは予想もし
ておらず、まずもって亡くな
られた方に対して心からお悔
やみ申し上げるとともに、い

ち早くの終息と現状回帰をご
祈念申し上げます。この度の
事で生活状況が一変された方
も多くおられるのではないか
と存じます。今まで当たり前
だったことが有り難く感じ、
まさに諸行無常を感じさせる
出来事でもございます。



「處處全真」揮毫 中俣天游先生

「山川異域 風月同天」(さ
んせんいきをことにすれども
ふうげつてんをおなじうす)
これはコロナウイルスがまだ
日本で猛威を振るう前、中国
が大変な時期に、日本から送っ
たマスク等の救援物資の箱に
書かれていた漢詩です。意味
は「中国と日本に同じ川はな
い。しかしながら風も月も同
じだ」です。この言葉に中国
の人達は大変感動したと、当
時ニュースで取り上げられて
いました。調べてみると、こ
の漢詩は約1300年前に天
武天皇の孫、長屋王が唐の僧、
鑑真に送った袈裟に刺繍され
ていた言葉とのこと。この
漢詩には続きの言葉があり
ます。それが「寄諸仏子 共
結来縁」(これをぶつしによす

ともにらいえんをむすばん)
です。意味は「この袈裟を仏
弟子に喜捨し、共に仏縁を結
ぼう」です。このお袈裟を受
け取った鑑真は大変感動し、
日本の仏法興隆に寄与するた
め困難な航海をして6度目で
ようやく日本に渡来し、日本
仏教にとって多くの功績を残
されました。

この日本からの漢詩に対し
て今度は日本がマスク不足に
陥った際、中国大手アリババ
グループのジャック・マー氏
は唐代の詩人王昌齡の「青山
一道 同担風雨」という漢詩
を添えた救援物資を日本に送
りました。これは「同じ山を
見る近隣同士、ともに風雨に
耐えよう」という意味です。

お互いが困ったときにこの
ように国を超えての助け合い
は大変有難く騒動の中で曇っ
た気持ちを晴れさせてくれる
ものでありました。

写真の言葉は「處處全真
(しよしよぜんしん)」と読み
ます。碧巖録(へきがらろく)
という中国宋代の仏教書であ
り、禅宗の語録である書物に
ある言葉です。處處とは所々

ではなく、いたるところとい
う意味で、全真はすべてのも
のが真理の本体そのものである
こと。ありのままの姿に、真
理のすべてが現われていると
いう意味です。この書は安善
寺の坐禅会においてになる方
から寄進されたもので、揮毫
されたのは新潟県の小千谷市
にお生まれになり、県内で教
壇に立ちながら書家としてご
活躍された中俣天游先生です。
平成九年にお亡くなりになる
まで日本書道教育学会評議員・
審査員、県書道会参事などを
歴任されました。力強い字で
書かれた「處處全真」ありの
ままの姿に、真理のすべてが
あらわれる。すなわち自分自
身が立っているその場所が真
実、真理であり、それは自分
が理想に描き、望み求めるも
のとは違うことも当然ありま
す。順風満帆ばかりの人生な
どありません。

現在、大変な世の中ではあ
りますが、今の現実をしっか
りと見つめ、自分という主体
を見失うことなく日々を重ね
ていきたいものです。

【越後曹洞宗名刹巡り】

越後四ヶ道場

雲洞庵の土踏んだか：

南魚沼市 雲洞庵

〒949-1654 新潟県南魚沼市雲洞六六〇
www.untouan.com/



www.untouan.com/

南魚沼市金城山の麓に所在する曹洞宗のお寺「雲洞庵」は村上市の「耕雲寺」、五泉市の「慈光寺」、新潟市の「種月寺」と共に越後四ヶ道場の一つです。

一三〇〇年ほど前の奈良時代、藤原房前公（藤原鎌足の孫）の母君が出家して当地に庵を結び、金城山から湧き出る霊泉で沢山の病人を救いました。母君亡き後、薬師如来を携えてこの地を訪れた房前公は、母親の菩提を弔う金城山雲洞庵を建立されました。以来、藤原家の尼僧院として律宗に属し、約六〇〇年間にわたり特に女人救済の庵寺として大変栄えたのです。その後、今から六〇〇年ほど

ど前の室町時代、関東管領・上杉憲実公が藤原家末裔の因縁で庵をうけ、曹洞宗雲洞護国禅庵を開創し、以降、北陸無双の大禅道場として栄えてきました。

本堂（新潟県指定文化財）は室町時代永享年間、上杉憲実公によつて建立されました。その後一七〇七年（宝永四年）に、新潟県出雲崎の小黒甚内を棟梁とする大工群によつて再建さ



法華経が埋められている石畳の参道

れた寺院は、近世寺院建築の最も優れたものとされています。また、赤門から本堂に続く参道の石畳の下には、一石一字ずつ法華経が認められて埋められており、この石畳を踏みしめてお参りすると、多くの御利益に預かると信仰されています。

かつては一大修行道場で

あった雲洞庵には、往時の坐禅堂や壮大な伽藍が、うつそうと茂る杉林の中に佇んでいます。二〇〇九年に放送された大河ドラマ「天地人」では幼少期の直江兼続、上杉景勝が学んだ寺としてその舞台となり子役の「わしはこんなとこ、来とうはなかった！」でも有名になりました。



1429年（永享元年）関東管領家より10万石の格式をいただき建立された赤門

曹洞宗 瑩山禪師 御誕生寺参拝と

古都 奈良寺院巡りの旅

『団体参拝旅行』

以前からご案内しております九月七日～九日の安善寺団体参拝旅行は予定通り行います。

旅の際は、国土交通省、観光庁の推奨する「新しい旅のエチケット」を遵守しつつ、出来る限りの対策を講じます。是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。尚、諸事情により二日目の宿泊宿が「若草山 三笠」から「奈良パークホテル」に変更となりました。

今後のコロナウイルスの状況により急遽予定変更になる可能性もございます。お申し込みの方はご理解ご承知おさぐさいます。

- 期 日 令和2年9月7日(月) ～ 9日(水) (2泊3日)
- 旅 費 63,000円也
- 申込金 10,000円(旅費充当)
- 人数 40名様
- メ 切 令和2年8月14日(金)

旅行企画・実施

新潟ビーエス観光

長岡市学校町3-12-4
TEL 0258(34) 4848
FAX 0258(34) 0227
E-mail nigatea.bs@jeans.ocn.ne.jp

新潟県知事登録旅行業2-143号

総合旅行業務取扱管理者 飯泉隆史

9/7(月)	安善寺	長岡IC	武生IC	瀧雅	曹洞宗	瑩山禪師	御誕生寺	武生IC	信貴山玉蔵院(宿坊)
	7:00	北陸道						17:10	
9/8(火)	信貴山	朝の勤行	護摩祈禱	法隆寺	飛鳥大仏	あすか野	石舞台古墳	法相宗大本山	奈良パークホテル
	9:00							17:00	
9/9(水)	奈良	萬福寺	黄檗宗大本山	滋賀県一之宮	多賀大社	(参拝・昼食)	彦根IC	長岡IC	安善寺
	8:30							19:30	
									(名神高速・北陸道)

新型コロナウイルスに伴う今後の安善寺行事について

『八月のお盆諸行事』

八月一日の新盆施食は予定通り法要を行います。法要後のお斎はお弁当をお持ち帰りいただきます。

十三日の本堂での盆礼受け、夜間の盂蘭盆会法要、十四日の新盆棚経、十五日のお盆のご供養法要は例年通り行います。

来寺の際はマスク着用にご協力ください。アルコール除菌の設置、席の配置、換気等、出来る対策を致します。



ご報告

本年はすでにご案内の通り、毎年六月十二日に厳修しております。大般若法要を山内並びに妙喜寺様に御随喜(お手伝い)賜り、厳修させていただきました。今回は住職になり初めての大般若の導師でした。お参りの無い中ではありましたが、檀信徒皆様のご健勝、世界平和、コロナウイルスの早期終息を願い法要を勤めさせていただきました。



6月12日 大般若法要 世界平和、新型コロナウイルスの早期終息、皆様のご健勝祈願

台湾・芝山巖と日本人②

台湾における日本人の姿を追って

ながおか史遊会 湯本 泰隆

井沢と共に台湾へ向かったのは、山田耕造、楫取道明、関口長太郎、中島長吉、桂金太郎、井原順之助、平井数馬の7名でした。これらの人物たちが、草創期の台湾教育にそれぞれ志を持ち、なみなみならない使命をもつてあつていたわけです。学校では、日本人と台湾人が相互の言語を学んで、互いを理解していくことから始めなければならぬという理念のもと、孔子廟など台湾人の尊崇する文化・宗教を尊重する方針がとられました。学校はしだいに地域住民にも受け入れられ、生徒数も増えていきました。日本語教育についての研究も行なわれ、教科書の編纂も進められていました。当時、台湾では日本への割譲に反対する勢力が激しい抵抗を続けていました。この地域も決して安全な場所ではありませんでしたが、日本人教師たちは学

堂に泊まり込んで研究に没頭したといえます。当時に書かれた記録をみると、教師たちが死を覚悟した上で、使命に当たっていたことがよく伝わってきます。ところが事件は起こります。士林一帯の叛乱勢力が蜂起したのです。このとき、伊沢と山田は本土へ帰国中で台湾に不在でした。芝山巖も襲撃対象となっており、残された学務官僚たちは襲撃にやつてきた暴徒を説得しようを試みますが、叶わず惨殺されてしまいました。1896(明治29)年元日のことでした。

6名の死後、現地では墓が建てられ、また殺害された日本人たちの魂を祀った芝山巖神社が建てられました。そして、「台湾教育の聖地」として大切にされたのです。ところが戦後になると、蒋介石率いる国民党によって、その歴史的評価が180度代わってしまします。国民党は神社跡や六氏先生の墓を破壊し、芝山巖字宇を襲撃した暴徒たちを義士として顕彰するようになるのです。親日的な李登輝が総統に就任すると、日本統治の時代が再評価される動きがでてきます。そのような時代のなかで、六氏先生の墓も再建されたのですが、一方で荒らされることもあったため、現在、一般の人は遠巻きにしか見るのが出来ません。最後に、芝山巖で殉職された学務官僚の方々の簡単な経歴と享年を紹介させていただきます。



台湾で殺害された学務官僚たち (『臺灣土語叢誌』第八號より)
 奥：中島長吉、井原順之助、平井数馬。
 前：桂金太郎、楫取道明、関口長太郎

の出来なかつた久坂玄瑞と文(松陰と寿の妹)夫婦の養子となり、玄瑞の死後に家督を継ぎますが、のちに玄瑞が京に滞在していたところに設けた秀次郎が認知されて久坂家を継ぐと生家に戻り、楫取道明と名乗りました。享年38歳。

七歳のときに藩校「修道館」に入学。秋山恬堂らの指導を受けました。修道館で6年間学ぶと名古屋の佐藤牧山塾に入り、漢学を磨く傍ら英語や数学の素養も身に付けています。1873(明治9)年、新設後間もない愛知県尋常師範学校へ入学。当時、伊沢が校長を務めており、これが伊沢と関口との出会いでした。関口は生涯を教育に尽くす決意をし、中島郡の小学校を皮切りに赴任。満29歳で錦城学校校長を務めました。水野右膳

という人物と共に『愛知県知多郡地理誌』を著しています。享年37歳。

中島長吉は、群馬県出身。16歳のときに上京し、丸山という人物の元で働きながら勉強をし、東京府尋常師範学校を得て麹町富士見小学校の教師になりました。その後も勤務の傍ら、支那語(中国語)を研究。1893(明

治26)年には日清協会を設立、一時は上海に暮らすことも考えていたようです。日清戦争が始まると通訳官となり、1895(同28)年にて台湾に渡り、そのままが学務官僚として伊沢の下で働きます。中島は、台湾における音楽教育の効用を指摘し、日本に一時帰国した伊沢に対し、楽器を持ち帰ることまで依頼していたといひます。著書に『支那語学階梯』があります。享年25歳。

桂金太郎は、旧幕臣桂信行の長男として1872(明治2)年東京府に生まれました。東京府尋常師範学校に進学。卒業後は、府内の瑞穂小学校や番町小学校で勤務していましたが、知人の推挙により台湾に渡り、伊沢のもとで働くことになりました。享年27歳。

井原順之助は岩国藩士井原右左助の息子で、1872(明治5)年に珂玖川下町に生まれました。1890(同23)年岩国公立学校卒業後、山口高等学校に入学しましたが、

時勢に身を感じ陸軍を希望し、退学します。ところが、視力に故障があり、入隊試験が通らず、目的を渡欧に変え、語学研究の傍ら、外国の新聞を翻訳して山口防長新聞などに投書していましたが、台湾が領土となると自ら進んで学務官僚を志願し、芝山巖学堂勤務となりました。享年23歳。

平井数馬は熊本県の出身で、小学校卒業後に済々黌中学校に入学。剣道や柔道に長けていたそうです。日清戦争勃発後、同校に志那語学部が設けられたことをきっかけにその研究をはじめ、卒業後に渡台湾しました。最年少で台湾へ渡り、半年で台湾語の全容を掴んだといわれています。通詞としての職務もあつたようで、編纂書に『台湾語』があります。享年17歳。

【筆者プロフィール】

1984年12月21日生まれ。ながおか史遊会を主宰、にいがた史遊会やゆきぐに史遊会の設立に関与するなど、地域に眠る文化財を探索しながら、研究者と市民をつなげる活動や講演、執筆なども行っている。長岡市在住。

東堂和尚のひとりごと(第二回)

安善寺のカラスは大切な家族の一員

安善寺の境内には、昔からカラスが住みついており、親カラスから子カラスへと代々引き継がれているようです。昔はよく「トントン・カンカン」と突く音がするので、誰かが仕事でもしているのかと音のする方に行ってみると、カラスが庫裏や本堂等の窓ガラスを突いていた、遊びのつもりか、結構悪いことをしており、その都度「コラ!」と叱っておりました。

だしましたら、玄関近くの枝に心配そうに止まっている両親の元へ飛んでいき、其の後、悪戯等は全くなくなりました。何年か、玄関前に足を引きずりながらも、穏やかな顔のカラスをよく見かけたものでした。

季刊誌でもお馴染みの初代「ペコ大蔵」は、平成元年七月から寺の住人になりました。神田公園に捨てられていた子猫でしたが、寺の子供達に拾われ、皆に可愛がられていました。しかし、カラスにとっては、猫は敵、危険な存在であるらしくペコがお寺に来てから十数年後、当時のカラスの家族より先輩にもかかわらず、ペコの姿をみるとチームワークよろしくペコに向かって襲ってきます。その様子を見ていた私は「カー君やここに居る猫はペコと言ってお寺の可愛い猫ちゃんだよ。カー君達を襲ったりしないから、カー君達もペコちゃんを苛



安善寺に代々住みつくカラス

めないでよ」と言うと、大きな目をキョロキョロして、怖い声で鳴いていたのを止め、優しい顔で私とペコを見ており、其の後はペコには威嚇することもなくなりました。

安善寺のカラスは大事な存在で、他のカラスが来ると縄張り意識か、家族協同で、追い払い、多数のカラスのたまり場になるのを防ぎ、野良猫がやってくるのをこれも見事な協力体制で追い払い、他の小鳥たちも自然に守られております。犬・猫も含み、お寺の家族のことを把握しており、今では境内のカラスも大事な家族のようです。カラスは頭が良く、苛めた人間を覚えており、攻撃してくるようですが、毎年、境内の違う木に巣をつくり、共存していると愛おしくなるものです。

またまた
ボブのひとり言

脳が元気になるよ！



ボブのひとり言

このご時世にもかかわらず、猫である私は自由そのもの。天気の良い日はお日様の匂いが私を誘惑する。そわそわ：そしてモモの目を盗んで日差しの中へ。そこはまさしく新緑の真ただ中。朝露に濡れた葉っぱから、少し湿った土から、爽やかな朝の風から：境内地のあらゆるところから感じられる初夏の匂いが鼻腔をくすぐる。

のんびりと朝の散歩を楽しんでいると、お気に入りの「鬼滅の刃マスク」姿で登校する真人君と悠真君に出くわ



した。二人はマスクに慣れない頃、つけることを嫌がった。忘れたいとしていたのに、今ではマスクをつけるのが当たり前になったようだ。登下校中も暑いだろうにしっかりとマスクをしている。自分を守り、相手を思いやる気持ちの表れのマスク、とても大事だが、周りの状況を見て判断して時々はずしてみても悪くない。新緑の中に身を置き、両手を広げて大きく息を吸い、目から、皮膚から耳から鼻から、体中から季節を感じてみると猫の私ですら自分が真つ新になつていく気がするのです。新緑の中だけでなく普段の何気ない生活の中にも五感をくすぐるものはたくさんありそうだ。窓から差し込む朝の陽光、おいしい食事、洗濯物の匂い、ベランダ

から入る夜風や虫の声。夜行性の私にとっては夜のベランダでまったりするのも大好きだ。五感を刺激すると疲れた脳が元気になるらしい。17歳という私の老体が若さを保つていられるのは秘密の夜の散歩と階下のモモが私に向ける叫び声が私の脳を刺激してくれているからに違いない。そうそう匂いといえはちよつと面白い話がある。ある日、久美さんがマリ子ばあばに古めかしいことをさして、「なんだか昭和の匂いがするね」と言ったら、脇からすうっと悠真君がきてマリ子ばあばの周りをクンクンと嗅ぎだしたではありませんか!!昭和の匂いとはどんなものなんだろうと真剣に嗅いでいた悠真君でした。(笑)素直な悠真君の行動に家族みんなの脳が一気に活性化したのは言うまでもありません。・にゃん!!

お便り原稿用紙

季刊誌では、檀信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。
ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問(編集部や住職がお答えします)など。
- 嬉しい・楽しい／嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

編集 6月23日朝刊1面に
雑感 久々に嬉しいニュース
が飛び込んできました。「日本スパコン世界一奪還」の記事です。日本のスパコン京の後を継いで新しく開発された「富岳」が計算スピードから解析能力等4部門で世界1位となり、米国を2位3位、中国を4位5位に退けた。
民主党政権時代に事業仕分けで蓮舫氏が「2位じゃ駄目なんじゃないか」と言った、その蓮舫氏が「努力に敬意を表する」とした。

来る日も来る日も新型コロナウイルス関連の記事ばかりでウンザリな所、日本人の心をスッキリと嬉しくさせてくれるニュースでした。新型コロナウイルスの治療薬の開発やウイルスの構造分析、感染の広がり方の解明などにも役立っていることが出来るので、楽しみます。
緑、青、紫、白、ピンクと形も色々の花、紫陽花が我が家の庭で色づき満開です。今年は4月5月6月と行動自粛で休日等は庭の草取りや庭木の手入れ、妻の手を借りながらやりました。枝切りや防除等は立って出来るので楽しいのですが、草取りは腰も痛くなり大変です。でも終わった後にひと風呂浴びてのビールは格別です。何か今年の庭木は元気が良く花もたくさん付いている様です。これも新型コロナウイルス禍の成すところでしょうか。

日本では感染者が1.8万人超、死者は1千人弱と少ない様ですが、世界では感染者が830万人、死者は45万人超でブラジルだけでも死者は5万人超、それでも海水浴等マスクもせずに大勢で行動しているとの事。日本では治まった様には見えませんが各自行動を自粛し、感染防止を行っているから、と思います。
これからも十分注意し、ワクチン特効薬の早期完成を祈念致します。

高橋利春